

**がん診療  
推進委員会  
だより**

## がん看護に関わる専門の 看護師の活動について

当病院にはがん看護に関わる専門職として、緩和ケア認定看護師1名(北3階病棟)、がん化学療法看護認定看護師1名(一般外来)、緩和ケア認定看護師教育課程修了生1名(一般外来)が在籍しております。所属部署での患者様への関わりその他に、これまでは複数の病棟にがん患者様が入院されてきましたので、不定期で病棟を訪問してきました。具体的には、病棟看護師と情報共有を行い、直接介入の必要な患者様には心理的な支援や、副作用に対するケアを行っていただきます。また、病棟看護師からの相談に応じたり、病状説明の面談に同席したり、カンファレンスへ参加したりする場合もあります。

2019年6月より北5階病棟を腫瘍治療病棟として運用を開始しました。運用開始をきっかけに、2019年8月より日時を決めて病棟訪問を開始しております。一つの病棟に患者様が入院されるようになるのと、患者様の情報を持った病棟看護師がケアに当たることができるといふ利点があります。患者様やご家族との関係性も大切にしながら、今後は薬剤師や理学療法士、栄養管理士などのメディカルスタッフと密に連携を取り、チーム力を高めて参りたいと思っております。

外来・入院に関わらず外来・病棟看護師と協働し、がん患者様やご家族が少しでも安心して、検査や治療が受けられるようにサポートしていきたいと思っております。病気の状態やその方のおかれる環境によって、悩みは人それぞれですので、一人ひとりに合わせたケアができるように、時間を取ってがん看護相談も行っています。ご希望の場合は、主治医や看護師へお声かけください。

がん化学療法看護認定看護師 國吉 洋子



## 毎年10月は 「乳がん啓発月間」

毎年10月の「乳がん啓発月間」に、乳がんの早期発見を呼びかける「ピンクリボン運動」が行われます。平日、子育て・介護・仕事・家事などで忙しく、なかなか検診にいけない女性の為に、10月の第3日曜日に乳がん検診(マンモグラフィ検査)が受診出来る取り組みです。

当健診センターも毎年実施を行い、今年も10月20日(日)実施を予定しています。

日本の女性が最も多くかかるがん「乳がん」は、年々増加していますが、乳がん検診の受診率はおよそ45%となっております。米国では80%以上の受診率ですので、日本の受診率の低さが分かります。それを受けて、毎年10月は「乳がん啓発月間」とし、乳がん検診受診の推進が呼びかけられています。

当健診センターは、毎年9月に浦添総合病院の蔵下医師を講師に招いて講演を行っており、講演を聞いて「受診しよう」と決められる方も多数いらっしゃいます。今年も講演で蔵下医師に乳がんに関する素朴な質問に答えて頂き、講演を聴きに來られた皆様は安心・満足したお顔で皆様帰られました。蔵下医師は毎回講演で、「乳がんは早期発見して早く治療をすれば命も助かり、乳房も温存出来る可能性も高い」とお話しされま

す。

家族が笑顔で幸せに暮らし、自分自身も楽しい生活を送る為に、女性の皆様にはしっかりと乳がん検診を受診してほしいと願います。

安心と自信を持って毎日の生活が送れるよう、乳がん検診を受診しましょう。

浦添総合病院健診センター  
健診渉外課課長 平良 哲哉

